

令和3年度決算に基づく 特別会計・企業会計

特別会計の概要

特別会計(11会計)決算額を合計すると、歳入が302億3,110万7千円で前年度と比べて2億7,107万8千円(0.9%)の減少となり、歳出が298億1,149万1千円で前年度と比べて1億1,243万1千円(0.4%)の減少となりました。

| 会計名 | 歳入(A) | 歳出(B) | 差引額(A-B) |
|----------------------|---------------|---------------|-------------|
| 国民健康保険特別会計(事業勘定) | 140億9,368万円 | 139億3,184万9千円 | 1億6,183万1千円 |
| 国民健康保険特別会計(直診勘定) | 4,546万9千円 | 4,496万8千円 | 50万1千円 |
| 古河福祉の森診療所特別会計 | 1億1,972万9千円 | 1億1,861万円 | 111万9千円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 16億4,671万9千円 | 16億4,510万8千円 | 161万1千円 |
| 介護保険特別会計(保険事業勘定) | 110億4,656万5千円 | 108億8,005万6千円 | 1億6,650万9千円 |
| 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) | 1,075万3千円 | 1,075万3千円 | 0円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 7億9,579万5千円 | 7億6,598万円 | 2,981万5千円 |
| ゴルフ場事業特別会計 | 9,213万1千円 | 8,255万9千円 | 957万2千円 |
| 古河駅東部土地区画整理事業特別会計 | 9億8,987万1千円 | 9億5,462万円 | 3,525万1千円 |
| 公共用地先行取得特別会計 | 1,820万7千円 | 1,820万7千円 | 0円 |
| 仁連地区新産業用地開発事業特別会計 | 13億7,218万8千円 | 13億5,878万1千円 | 1,340万7千円 |
| 合計 | 302億3,110万7千円 | 298億1,149万1千円 | 4億1,961万6千円 |

企業会計の概要

上下水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金や下水道使用料などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。

| 会計名 | 収支(消費税込) | 収入(A) | 支出(B) | 差引額(A-B) |
|-------|----------|--------------|--------------|--------------|
| 水道事業 | 収益的 | 27億7,616万9千円 | 23億175万7千円 | 4億7,441万2千円 |
| | 資本的 | 6億317万2千円 | 14億6,571万9千円 | △8億6,254万7千円 |
| 下水道事業 | 収益的 | 31億8,311万6千円 | 31億2,553万8千円 | 5,757万8千円 |
| | 資本的 | 11億1,154万7千円 | 20億2,677万9千円 | △9億1,523万2千円 |

【問】水道課(三和浄水場)Tel.76-3780
◎下水道課Tel.76-1511

事業評価を実施しました

令和3年度に実施した市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価は、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行ったものです。

評価結果は、市ホームページおよび右記の市内各施設で閲覧できます。

【問】◎企画課Tel.92-3111



事業評価書を閲覧できる施設

- 古河地区：①市民総合窓口室、古河断熱東公民館、古河断熱中田公民館、ヤクルトはなももプラザ、いちようプラザ
- 総和地区：◎企画課、ユーセンター KI防水、とねミドリ館
- 三和地区：◎市民総合窓口室、燦SUN館、コスモスプラザ

令和3年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

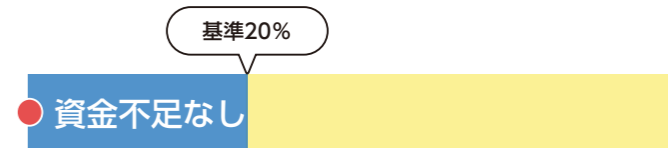
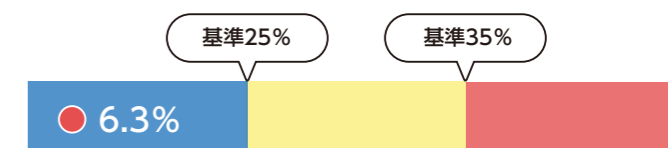
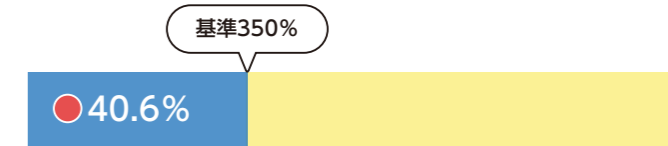
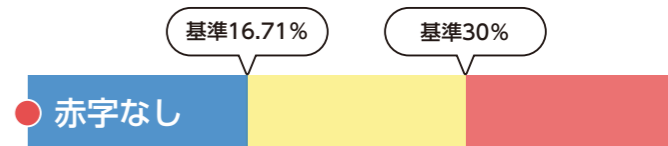
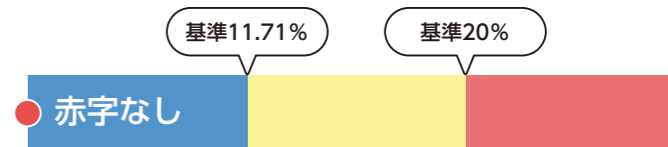
実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

← 財政健全 財政悪化 →

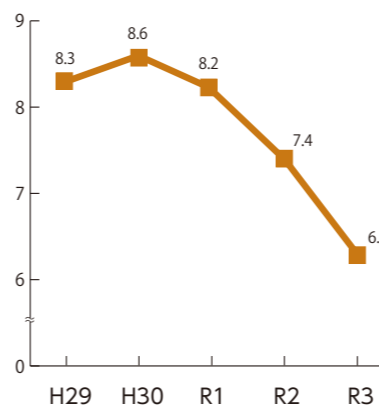


●市の現状値 ■健全 ■早期健全化団体 ■財政再生団体

【令和3年度決算に基づく現状値】

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

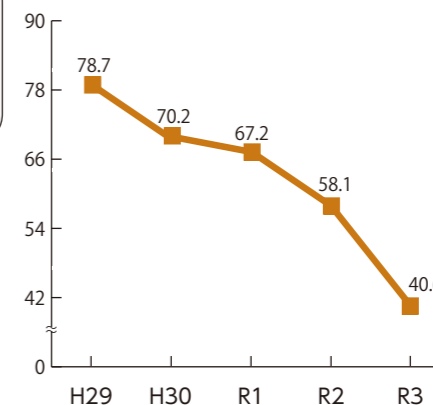
▶実質公債費比率



市の実質的な借入返済額は減少傾向にあり、今後も減少する見込みです



▶将来負担比率



返済により負債が減少しているため、将来負担する負債の割合も減少してきています

